

<p>伝道弟子 3つの伝道のための伝道弟子(使徒 241-42)</p> <p><b>*序論</b> ▲伝道弟子は3つの伝道を見るべきだ。 (1)地域キャンプ (2)一回キャンプ(重職者)重職者中心に捨てられている按手執事、勸士、レムナント青年を握って一度はキャンプをして行かなければならないのではない (3)黄金漁場 お手伝える働き人が集まっているのだ。それで重要な堂会員、重職者中心に一生を投資してもかまわない黄金漁場を探しに出るのだ。 ▲これから、みなさんとともに始めようとするのが(1)番だ。本当に地域キャンプをしよう。</p> <p><b>1.神様の導き</b> ▲伝道とは、神様の導きを正しく受けることだ。 (1)はじまり-神様の導きを受けるのに、そのはじまりを見よう。 ①使徒 1:14 ②使徒 13:1-4 ③使徒 19:1-7 (2)神の国-今からこれを見せなければならぬ ①マタイ 12:28-30 ②ルカ 10:19 ③ヨハネ 14:1-3、ピリピ 3:20 (3)すべての答え-この中にすべての答えがみな入っている。 ①マタイ 6:33 ②使徒 2:9-11 ③マルコ 10:29-30</p> <p><b>2.神様の働き(仕事)</b> ▲使徒 2:42. 単純に私たちが伝道するのではなくて、神様の働きを見よう。神様が仕事をされるのを見よう。 (1)使徒 2:9-11、15ヶ国の重職者、産業者が集まった。 (2)どのように3千弟子が起きるのだろうか (3)使徒 6:7、エルサレム全体にみことばが運動が起きて、祭司の群れが立ち返るのだ。</p> <p><b>3.神様の恵み(個人)</b> ▲使徒の働きに起きた伝道弟子の働きは、私個人に与えられる神様の恵みを悟ることだ。 (1)神様の主権的な恵み 1)創世記 1:1-13、 2)エペソ 1:1-3、私を世界の基が置かれる前におかれた。 3)創世記 4:5-5、すべてのことをみな準備しておかれた。 4)エペソ 3:1-5、すべてのことが神様の経綸がある計画だ。 5)使徒 13:48、神様は正確な時刻表を持っておられる。 (2)主権的な答えがくる。 ▲このとき、だれも止めることができない主権的な答えがくる。根源的な答え、代表的な答え、時代的答え、記念碑的答え、不可抗力的答え (3)救い史的な働き ▲私たちがする働きは単なる働きではなくて、神様が救いの働きを成し遂げて行かれる中に私たちがお手伝いするのだ。</p> <p><b>*結論</b> ▲教会に起きる多くの事をすべてキャンプに昇華させなさい。 (1)使徒 2:43-47 (2)使徒 11:19 (3)使徒 19:1-7、キャンプをすること以前に、大きい恵みを受けるのだ。 ▲これが伝道弟子が握らなければならない講義だ。これが伝道弟子が味わう祝福で、伝道運動の祝福だ。</p>	<p>70人: 3つの伝道のための重職者伝道(使徒 13:1)</p> <p><b>*序論</b> ▲3つの伝道のための重職者伝道。重職者が多くの学習があるだろうが、しかし、一つを知らなければだめだ。 (1)神様の導き、神様の働き、神様の恵み (2)神の国-今からこれを見せなければならぬ (3)直接-初代教会の重職者が直接、神様が約束されたのを見た。 ①使徒 1:14、使徒 2:1、これを見た。 ②使徒 2:9-11、これが他の人に伝えられるのを見た。 ③使徒 2:41-42、多くの信徒に伝えられた。 ▲聖霊の働き(神様がともに)、暗やみ(サタン)縛る、御座の働き(主の使い)、この三つが神の国だ。本当に信じたら心配する必要はない。今日から福音と伝道の他にはみな捨ててしまうことを望む。実際、この祝福を神様のみことばで味わえるならば確実に変わる。この祝福を伝道で味わえるならば、より一層、変わる。これを伝道者の生活、神の国を味わう生活という。 ▲重職者の方が何からすべきなのか。 <b>1.Oneness キャンプ</b> ▲重職者の方がワンネスキャンプから祈らなければならぬ。このときから重要な答えがくる。 (1)使徒 2:43-47 経済困難、使徒 6:1-7 驚くべき門、使徒 9:1-43 重職者中心の伝道運動、ローマ 16:17-20 サタンの勢力がひざまづくこと。 (2)長老、按手執事、勸士、レムナント、大学青年-捜し出してしなさい。 (3)教役者-長老が(1)番の目が本当に開かれてしまえば、本当に教役者が重要だ。そして多くの教役者が要だ。 <b>2.一回キャンプ</b> ▲長老は一回キャンプを準備しなさい。神様は100年の答え、千年の答え、時代の答えもくださる。 (1)使徒 16:16-18、霊的問題-福音だけ伝えてあげれば良い。 (2)使徒 17:1-2、現場中心-重要なことを見た。 (3)使徒 18:1-4、会堂中心(学校) (4)使徒 19:8、弟子中心-神様が弟子を備えられた (5)使徒 19:21、未来中心 <b>3.黄金漁場キャンプ</b> (1)一生の答えを受けるのだ。 1)使徒 13:1、パウロとともに重要なことを見た人々だ。 2)使徒 16:6-10、はじめての宣教地アジア(使徒 13:1)、マケドニア 3)使徒 19:21、ローマの門が開く。 (2)準備すること3つ 1)漁場はどこか 2)弟子が出てくる時までは動くな。弟子が出てくれば、そのとき、動きなさい。 3)確立-これ以後にどのように確立させるかを準備しておいて、キャンプに入るのだ。 (3)祈り-このとき祈りを学ぶようになる。 <b>*結論-私の祈りと関係ない答えをください。</b> (1)ユダを征服する答えを与えられた(使徒 6:7) (2)マケドニア征服する答えを与えられた。 (3)ローマを征服する答えを与えられた。 ▲いまは①地域キャンプ(地域教会を生かすこと)②重職者キャンプ(重職者を生かすこと)③セッティングされたキャンプ(黄金漁場の門をあけること)-それから完全に長期戦で黄金漁場を生かせるセッティングされたキャンプをしよう</p>	<p>ミッションホーム: ミッションホームキャンプ(使徒 16:15)</p> <p><b>*序論</b> ▲ミッションホームでは祈りを正しく教えない。その中で一番最初に教えるなければならないことが考えだ。 (1)考え、ことば、仕事-違つて考えるからことばも違つたことばを度々する。そうしたら、仕事もつまらないことをよくするようになる。逆に見えない。 (2)傷とここで、この人たちの共通点が、傷をたくさん持っている。これをミッションホームで直さなければならない。 (3)霊的問題-霊的問題を持った人々が多い。 <b>1.両親、教会、学校</b> ▲両親は離れていても、両親の影響、心配、負担はとても大きい。そして、教会にきてても負担を受ける。この2つのことがだめな上に学校まで、必ず、両親、教会、学校が大切な理由を教えないといけない。 (1)霊的状态-なぜ両親が大切なのか。あまりに福音ないときに、この霊的状态の中で福音を知るようになったことだと、分かるようにさせるのだ。 (2)霊的問題-私たちが持っている霊的状态と同じように教会にきて、霊的問題で今出てきているのだ。 (3)霊的危機-それでは、これを持って世の中に出て行けば、まったくの問題ないことに見えるけれど、霊的な危機の中に行くのだ。 ▲この目を開いてあげなければ、事実上、その子どもをほろぼすのだ。両親の霊的状态を見て祈りが出てきて、感謝が出てこなくなったら、それは福音ではない。子どもたちが正しく理解できるようにさせてやらなければならない。 <b>2.自身-そして、この子どもたち自身だ。</b> (1)ダビデがビジョンを発見すること以前(同時) ▲ダビデは以前に祈りと人生、祈りと学業、祈りと仕事が併行した。私ごっこではなく、あなたが神様の前に立つべきだ。 (2)ダビデがビジョンを発見した以後 ▲これからあなたは王になるだろう。契約の箱はどなるのか。これから神殿はどのように作らなければならないのか。その日以来、主の霊が激しく臨んだ。 (3)ダビデがビジョンを発見する以前と以後をともにすることによってみる部分-すべてのこと(問題)-準備 ▲すべてのことは問題に見えろが答えだ。ダビデが王として、すべてのことを準備することになった。 ▲子どもたちに、神様の子どもとして神様の前に立てようとしてやらなければならない。これなければ終わつたのだ。 <b>3.試み-祝福</b> ▲そして、ずっと試みを受けるのか、祝福を受けるのかということのためにこれをすべきだ。 (1)教会の仕事-教会のすべての仕事は祝福を受けることだ。 (2)当日キャンプ-その日その日起きるすべてのことは当日キャンプの祝福だ。 (3)レムナントの意味-レムナントは残つた者という意味だ。あなたが残る者になることで、残つた者になるだろう。これは神様の約束だ。福音を持ったレムナントは、どこへ行ってもサミットとして立つだろう。3つの企業を作り出すほど、3つの団体を生かすほど成功するようになる。 ▲レムナントは正常に育たなければならない。レムナントは正しく育たなければならない。レムナントは配慮することができなければならない。レムナントは東西南北、上下を正しく見るべきだ。レムナントは過去と未来を見るべきだ。</p>	<p>いやしの働き: いやしキャンプ</p> <p><b>*序論</b> ▲いやしキャンプ-おもにどんな問題を持っているのか (1)家系から来た問題が多いと1順位上がってきた。 1)偶像、思想-代々偶像崇拜した家、代々その家に降りてきた思想 2)夫婦、両親の問題 3)病氣-深刻な病氣で苦しめられる人 4)経済-経済問題 5)うつ病(精神)-無能、無気力が多く、簡単に話せばうつ病の症状もきて、精神的に苦しめられると上がってきた。かなり多い。 (2)ヨハネ 9:3、ひとますだれの罪かではなくて、神様が現われるためだと言われた。 (3)神様が直してこそ可能だ。 ▲これを正しくしようとする時は- <b>1.家族キャンプ</b> ▲家族キャンプから先にすべきだ。その理由が- (1)未信者状態 6つにそのまま陥っている。これを治療しなくてはだめだ。 (2)霊的雰囲気-ある家に行ってみれば、霊的雰囲気が狂うしかない。 (3)長い間の傷-これが長い間の傷だ。それで家族キャンプが必要だ。 <b>2.いやし伝道キャンプ</b> ▲1番になった以後に、こういう子どもたちを対象にいやし伝道キャンプを一度してみる必要がある。 (1)同じ状況-同じ状況にあった人を連れて行って、同じ状況にキャンプをしなさい。 (2)精神-想像以上に精神疾患を病んで、なおつた人を握つていやしキャンプをしてみれば、お互いが力を得る(使徒 16:16-18) (3)パウロがしたキャンプを詳しく見なさい。大きく3ヶ所が出てくる。使徒 13章、16章、19章。使徒 13章は、はじめて出発したところで、使徒 16章はマケドニア、使徒 19章はローマに行くのだ。この特徴が、とても霊的問題がある人、ある所に現場伝道キャンプが起きた。 <b>3.正常キャンプ</b> ▲結果的には正常キャンプに入らなければならない。 (1)三つ-いやし人に三つを教える。 ①からだのいやし-運動 ②心のいやし-黙想(呼吸) ③信仰-祈りだ。 ▲正常に戻るようさせてあげるのだ。 (2)上手にできることもある。そちらに集中するようにさせてあげなさい。 (3)自ら祈れるようにだけすれば、成功だ。 ①祈りの文-いやしなれない人々には、はじめには祈りができないから祈りの文を書いて教えるのも良い。 ②聖句(みことば)-ここに最も重要なのが聖句だ。みことばの働き、ここまですべきだ。 <b>*結論</b> ▲ここにひよとして病氣になった人がいると、このように結論を出すだろう。私はいやれないでも良い。私は病氣になつても良い。私は神様の子どもで、キリストとともにいる。ここに感謝が出てくれれば良い。こういう人々は神様の働きを成し遂げるしかない。</p>
---	---	---	--